

ひだまり

第12版
平成29年 6月10日

公立八鹿病院緩和ケア病棟



緩和ケアだよりを、「ひだまり」として発行させて頂くことに致しました。緩和ケア病棟では、遺族会（ひだまりの会）を年1回行っています。緩和ケア病棟が、暖かく、ひだまりのような場所であり、自然に足を運んでいただける優しいところであるようにとの、願いを込めています。今後も、「ひだまり」を通し、色々な情報をお届けしたいと思います。



緩和ケア病棟での過ごし方

緩和ケアを希望される患者さま・ご家族は年々、増えてきています。しかし、その反面こんな声もお聞きします。「緩和ケア病棟はまだ早いと思っている」「厳しい状態の方がいく病棟だ」「もう治療をすることがないので、緩和に行きます」という言葉を耳にします。

実際そうなのでしょうか。当病棟では、治療を頑張って受けてこられた過程を大切に、体だけでなく、心のつらさも緩和することを大切に、食事が食べれること、睡眠がとれることなど生活を大事にしています。「一度家で過ごしたい」「家族で思い出を作りたい」さまざまなご希望と一緒に考えていきます。

「ここに来て良かった」「看護師さんと話しているとほっとします」「始めは緊張しましたが、落ち着いた空気を感じることができました」などお聞きし、スタッフもお力を頂いています。今、病棟の庭園は緑と花でいっぱいです。緩和ケアにおける園芸療法は、緑や花や外の風に触れることで、心と体を癒すことを目的にしています。天気の良い日は、車いすや、ベット散歩を行い、患者さまご家族の方を癒します。患者さまからは「入院する前はこんなに空気が違うなんてわからなかった」「気持ちいいな」「花や緑がいっぱいだね」ともに寄り添いながら「生きること」を大切にしています。



バラがきれいに咲きました



美味しい野菜ができますように^v^

庭園でゆっくり過ごしてくださいね

～季節の行事を紹介します～



お花見会をしました

平成29年4月11日、スタッフが花を持ち寄り、ホールでお花見会を行いました。会の終わりに「春が来た」のリクエストを頂き、患者さまご家族とともにハンドベル演奏を行いました。普段見ることのない患者さまの笑顔！！「すごくいいですね」「楽しかったです」と演奏後の表情は素晴らしかったです。春を感じるひと時でした。



ボランティアの紹介

当病棟は、多くのボランティアの方に支えて頂いています。緩和ケア病棟で過ごされたご家族の方が手作りのお人形やお花を持って来て下さり、患者さまご家族を癒してくれます。また定期的に絵手紙を送ってくださるご家族、口腔ケアガーゼを作成して下さるご家族がいます。毎週火曜日には住職の方が、傾聴ボランティアに来てくださり、自然に耳を傾け、声をかけてくださっています。



～編集後記～

病棟の畑にきゅうり、プチトマト、なすを植えました。患者さまのご家族の方に、水のやり方、苗の植える間隔などご指導頂き、すくすく育っています。美味しい野菜の収穫を楽しみに大切に育てたいと思います。

文責：谷口